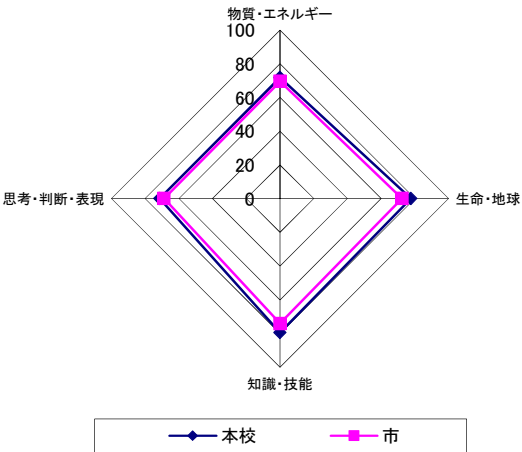


宇都宮市立横川中央小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	71.7	69.5	65.2
	生命・地球	77.6	72.3	70.1
観点別	知識・技能	79.5	74.0	70.7
	思考・判断・表現	71.4	68.7	65.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○校内正答率は71.7%で、市の平均を2.2ポイント上回った。 ○金属と水溶液の関係を問う設問では、校内正答率86.4%で、市の平均を15.5ポイント上回った。 ●ふりこの周期について問う設問では、校内正答率63.6%で、市の平均を7.4ポイント下回った。 ●ものの溶け方を問う設問では、校内正答率47.7%で、市の平均を5ポイント下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・ふりこの周期について問う設問に関しては、既習内容を確認し定着を図りつつ、教科書の確かめ問題やまとめの問題を活用し応用力を高める。 ・ものの溶け方を問う設問に関しては、実験計画を自分で考える機会を多く設けつつ、実験に対する考察に関しても自分の言葉で書けるように指導する。
生命・地球	○校内正答率は77.6%で、市の平均を5.3ポイント上回った。 ○流れる水の働きによる侵食を問う設問では校内正答率86.4%で、市の正答率を15.7ポイント上回った。 ●植物のつくりと働きを問う設問では、校内正答率は67.0%で、市の正答率を4.9ポイント下回った。	・自分の予想からどのような結果が導かれるのか、考えさせる経験を積ませる。 ・2つの資料を関連付けて読み取る能力を身に付けさせるとともに、日常生活における自然現象に着目し、「なぜ」「どうして」と疑問をもつ機会を増やしていくようにする。